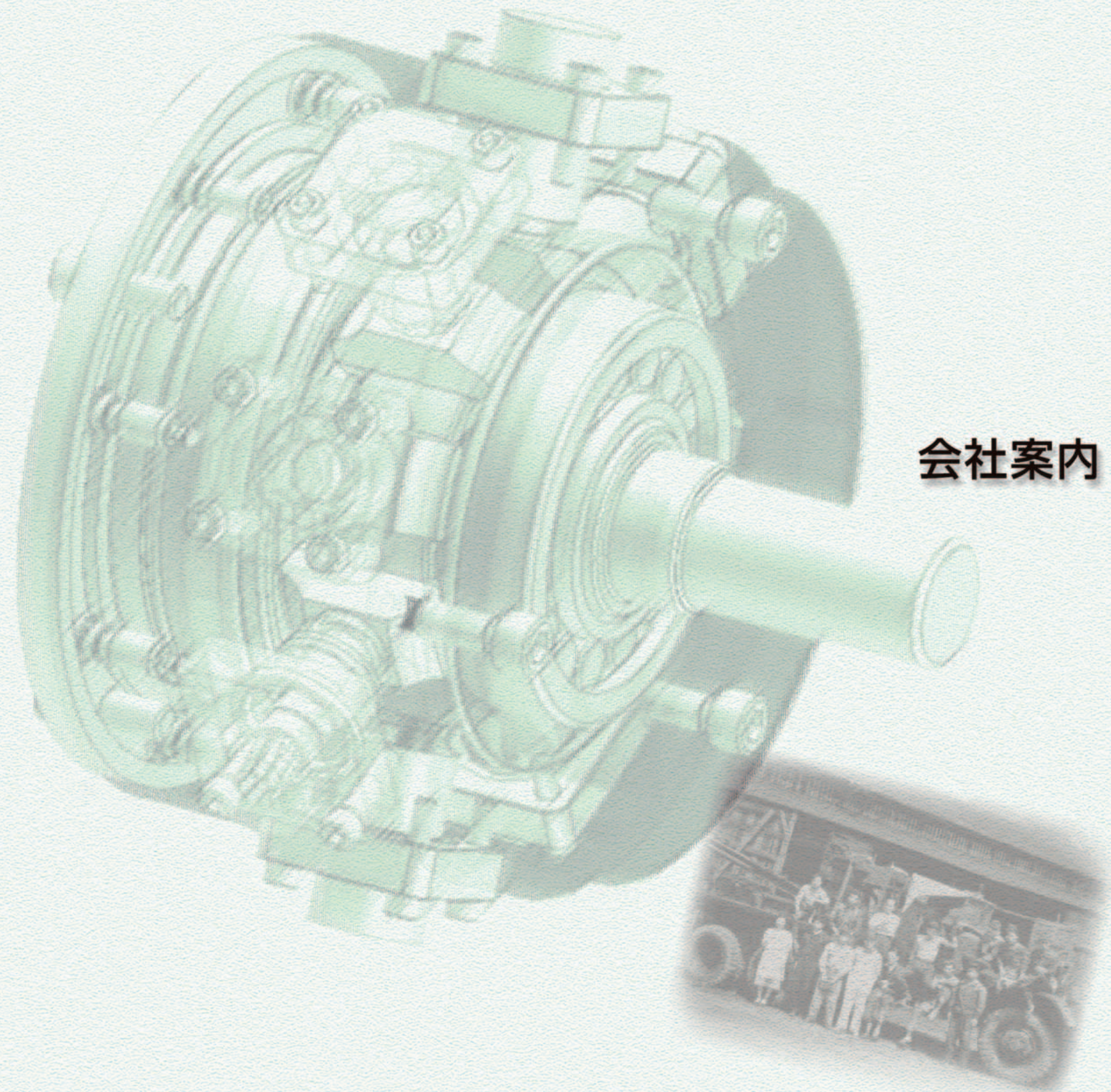


マルマテクニカ株式会社

本社・相模原事業所 〒252-0331 神奈川県相模原市南区大野台6-2-1
TEL042(751)3800 FAX042(756)4389
東京工場 〒156-0054 東京都世田谷区桜丘1-2-22
TEL03(3429)2141 FAX03(3420)3336
厚木工場 〒243-0125 神奈川県厚木市小野651
TEL046(250)2211 FAX046(250)5055
名古屋事業所 〒485-0037 愛知県小牧市小針2-18
TEL0568(77)3311 FAX0568(72)5209

URL <http://www.maruma.co.jp/>



会社案内

MARUMA

すべてを統合して 新たな価値を創造。

マルマテクニカは、建設機械の整備からスタートした会社です。
しかし現在は、単なる整備工場でも、製造会社でも、エンジニアリング
会社でも、輸出入商社でもなく、それらの要素すべてを緊密に連携
させてお客さまの利益に結びつける技術者集団に進化しました。
豊富な経験と高い技術に裏付けされたエンジニアリング、お客さまの
願いにかなう製品の開発と生産、国内外の優れた製品の紹介と販売、
そしてそれらを支える全対応型の整備サービス事業、1946年の創業
以来のワールドワイドな技術協力。
弊社はそれらすべてを統合し柔軟に活用することで、着実な歩みを
続けています…お客さまに新たな価値を提供するために。

2



3



さまざまなお客さまの要求にお応えできるフレキシブルな体制

現代のさまざまなニーズ、土木・建築から道路、鉄道、農業、林業、港湾、環境リサイクルまで、ありとあらゆるお客さまの課題に対し、最適な回答をご提供するために。

私たちは、お話を聞く、エンジニアリングする、開発する、創る、探す、供給する、メンテナンスする…といったさまざまな要素を、技術部門、営業部門、工場部門、購買部門…各部門の緊密な連携プレーのもとで実現し、世界規模で活発に展開しています。

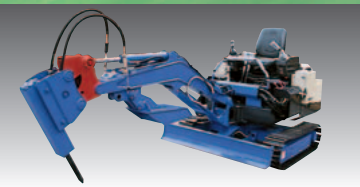


製造・改造

現場に最適化したマシンを創りあげる

6p

新たな付加価値を持つ各種作業装置(アタッチメント)を作ったり、独自のアイデアで特殊な機械を開発したりします。ニーズにぴったり合うオリジナルマシンを創り上げます。



商品販売

お客さまがお望みの機器をご提供する

10p

国内外の優れた機器を選定・輸入し、さらにキメ細かく改良を加え、現場で最大の能力を発揮するマシンとして万全のサポートとともにご提供します。



整備・サービス

パイオニアの実績が信頼を産む

12p

弊社の事業の原点です。建設機械を中心に多様な車両・機器類の整備サービス・出張サービス(海外を含む)を実施します。定期整備や車両系建機の特定自主検査も行います。



海外エンジニアリング

「ソフト」が「モノ」を活かす

14p

それぞれの国情に合わせて最適な設備群を輸出します。もちろん設備や工場の設計配置、社員派遣や研修生受け入れでの教育指導など、ソフト面でのサービスも充実しています。



開発・設計

高い基礎技術があるから応用が利く

16p

様々なニーズに応えるために、高い専門技術をコアとして、開発・エンジニアリングを行います。



会社概要／マルマのあゆみ

長い経験からしか生み出せないものがある

18p

私たちは古さの固守はしませんが、長い歴史には誇りを持っています。そして、それをさらに発展させるのが我々の使命であると考えています。



既成の機械では対応できない作業を、スムーズにこなすために。

私たちはお客さまの「こういう機械が欲しい」という声に、持ち前の技術力と、柔軟な対応力を活かしてきちんと対応します。たとえば、最適の機能を持つ作業装置(アタッチメント)を取り付けたり、オーダーメイドで全く新しい機械を一から作り上げたりします。そうして、現場に最適なユニークな機械を提供するのです。また、整備工場用の設備機器も製造しています。

建設機械関連

お客さまの建設機械があらゆる条件でも最も高い効率で稼働できるように、特殊な機械(アタッチメント)を装着するなどして、付加価値の高いユニークなマシンとして生まれ変わらせます。



ロードスイーパー
構内や道路等に飛散した土砂類を、強力な回転ブラシで素早くはき込みながら、効率よく清掃します。



ソーウェイドーザー
狭い船倉内で搬入(かき集め)・搬出(押出し)作業を効率よく行えます。



除雪ドーザー
ドーザーの角度の変更が簡単に行え除雪作業がスピーディに行えます。



サイドダンプバケット
前方向だけでなく、左右両側へも排土できることで、旋回が困難なトンネル工事などで使用されます。

チップ散布機
チップをマルチング材として吹き付ける作業や、ゴルフ場の目砂散布、果樹園や農園の堆肥の散布・切り返し等が効率良く行えます。



リフティングマグネット
金属スクラップのハンドリングや選別を、強力な磁力によりスピーディに行えます。



泥上作業機
河川・干潟・沼地・超湿地などの軟弱地盤での土木作業に威力を発揮します。



ウッドシヤ
樹木の伐採・抜根・切断・積込、木造家屋・船の解体、ロール紙の切断等さまざまな作業に威力を発揮します。



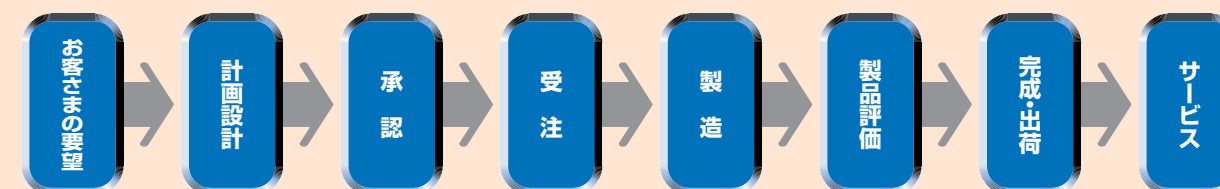
マテリアルハンドリング仕様車
ロングブーム・アームの先にグラブバケットを装備。スクラップの積込み・荷降し、狭いスペースの高積み等に能力を発揮します。



チップバケット
チップ積込作業用の大型バケット。ハイキャブの採用により視界が広がり安全に作業が行えます。

ご要望を形にして提供するまでのプロセス

このページでご紹介しているのは、我々の実績の一部です。他にも数多くのご要望にお応えしてまいりました。ここでは通常のプロセスについてご説明します。



私たちはまず、お客さまの使用目的や現場状況、ご要望等を詳細に把握することから始めます。お客さまと共に必要な仕様を作り込みながら計画設計を行うのです。ここでのコンサルティング能力の高さが我々の特色です。(ここは大変重要なプロセスのため、作業量によっては有償となります。)
お客さまのご要望が満たされた製品であると承認後、受注となれば、詳細設計を経て製造となります。ここで定評ある技術力と、

シンプルで柔軟な管理体制が活躍するのです。そのため、「品質」と「価格」はもちろんのこと、「スピード」はどこにも負けないと自負しております。
最後に社内での製品評価の後、完成した機械がお客さまの元に届けられます。改良や機能追加などのきめ細かな作業はもちろん、整備部門を併設しているため、万が一の時のアフターサービス体制も充実しており、安心して機械をお使いいただけます。

特殊機械関連

まったく新規に開発しなければ対応できないニーズもあります。そんなときはオーダーメイド感覚で、不可能を可能にする特殊機械を作り上げます。設計開発から製造・アフターサービスまで一貫したサポートをご提供するのです。



雪再生機

スキー場等のアイスバーンを削り取り新雪のように再生して散布します。



廃材回収機

橋梁等のコンクリートをウォータージェット(超高压水流)で中の鉄筋を傷つけずに破砕し回収します。



有人無人対応型ハンドガイド草刈機

特定小電力無線局を搭載し、遠隔操縦でも搭乗でも操作可能な草刈機です。



船内棚落し機

船内の突起物などに引っ掛かったマテリアルを効率良く船底へ落とすための仕様車です。



道路遮音壁清掃機

省力化機械設計タイプの高速道路遮音壁清掃機です。



無人走行放水車

特定小電力無線局を搭載し、100mから300mくらいの遠隔操縦が可能な放水車です。

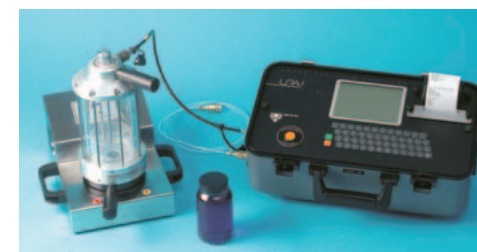
整備機械関連

マルマは、日本最初の建設機械修理工場として培われた高度な技術と経験に加え、海外数多くの有力メーカーとの技術提携によって整備・再生用設備機器の製造力を持った唯一のメーカーです。国内はもとより海外80カ国以上に実績を持っています。



回生型油圧試験機

油圧ポンプ・モーターの性能確認試験機で作業性に優れ、回生回路により消費電力を削減できます。



オイル洗浄度測定器(コンタミチェッカー)

油圧機器の破損原因となるコンタミ監視機器。オイル洗浄度を容易に、正確に測定できます。



工作車

修理設備を搭載した車両です。特に海外の工事現場ではワゴン車から大型車まで修理目的に応じた工作車や給油車が活躍しています。



シリンダリペアスタンド

大型油圧シリンダの分解・組立・オイル漏れ検査をこのスタンド一台で行えます。締付トルク管理も行えます。

整備機械関連製品群とは

このページの製品群が他と異なるのは、ユーザーが「建機整備工場」という特殊分野であることに加え、私たち自身がそのユーザーそのものであることです。社内ユーザーの厳しい要求

に応じて改良を重ねたことで、自信をもってお奨めできる整備工場向け設備機械が揃いました。そのラインアップをご紹介します。14-15ページにあるように、海外でも活躍しています。

車体・油圧

油圧機器用テスター
シリンダーリペアスタンド
ホイールドーリー
タイヤリムーバー
油圧ポンプ・シリンダー

エンジン

エンジンリペアスタンド
シリンダーヘッドスタンド
ラジエタリペアスタンド
ピストンヒーター

足廻り再生

トラックリンクプレス
ローラーアイドラプレス
トラックリンク肉盛溶接機
ローラー・アイドラ肉盛溶接機
油圧シューボルトレンチ

フィールド

コンテナ式整備工場
工作車
給油車
サービスカー

商品販売 BUYING-SELLING

海外にも優れた製品は多くあります…国内事情に合わせて改良さえすれば。

そこでマルマはお客さまのニーズに適した製品を国内外の多数のメーカーの中から選定し、日本市場に適合するようにきめ細かい改良を加えた上で、販売します。海外の数多くの専門メーカーと提携しており、各種建設機械本体から特殊装置・商用車・特殊作業車など、ご要望に応じてさまざまな製品を取り扱っています。もちろん「整備のマルマ」ですから、サポートも万全。単なる販売以上のものを提供するのが私たちマルマなのです。



自走式タブグラインダー
木材や巨木根等を効率的・安全に均一チップ化します。



自走式水平グラインダー
破碎ドラムを載せ替えることにより、丸太を破碎して切削チップ化した燃料用チップの生産と選定枝葉・根株などを破碎してピンチップ化した堆肥・畜産敷床材の生産を可能にしました。



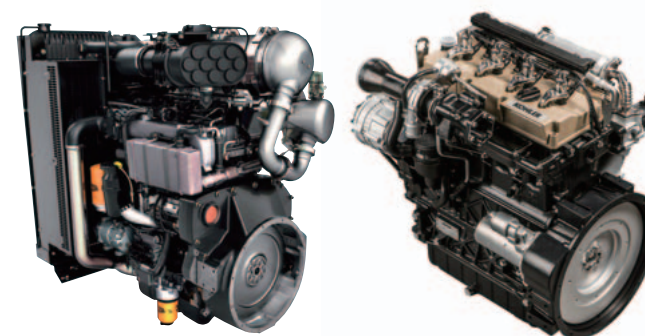
電動式水平グラインダー
環境アセスの騒音・振動・粉塵などを抑え、ランニングコストの低減を図っています。また、破碎ドラムを載せ替えることにより、切削チップとピンチップの生産を可能にしました。



スタンプカッター
ゴルフ場、公園、街路樹等の造成工事で発生した切り株を5分で簡単に切削処理できます。



ラバンティ シェ(金属切断機)
世界最大の切断力を誇る移動式ギロチンとして、さまざまなスクラップ・解体処理に無類の性能を発揮します。



JCB／KOHLEH製 ディーゼルエンジン
世界的に建設機械への排ガス規制が厳しくなる中、マルマでは国内代理店として最新の排ガス規制に対応した海外製ディーゼルエンジンを一台からご提供しています。

リサイクルへの取り組み

全世界でリサイクルへの取り組みが進んでいるなか、マルマでは、木質系リサイクル、金属系リサイクル…それぞれの専用機を導入しています。キーワードは「現場処理」。減量化や次

木質系リサイクル

巨大根、長尺材、その他処理対象に適合した機械でチップ化。チップを燃焼させて温水を取り出すボイラーや、チップを堆肥化したのち芝生の種と混ぜ合わせて公園や法面に散布し緑化する製品など、粉碎処理した木材チップを再利用するための製品も数多く手がけています。



パルフィンガークレーン／エプシロンクレーン
トラック積載型の屈曲式ローダークレーンはブーム先端にあるフックで直接荷を吊り上げる構造により、荷を素早く移動させられるという特長があります。また、フックの代わりにグラップルを付け、木材や金属スクラップをハンドリングする専用機としても広く利用されています。

自動車用排出ガス浄化装置



「スモークバスターNシリーズ」
国土交通省の認定を受けた自動車NOx・PM法対応装置
自動車NOx・PM法に適合しないため、車検の継続ができない車両を、本装置を装着することにより車検を可能にする装置です。



「PMC」
九都県市指定粒子状物質低減装置
本装置を装着することにより、九都県市環境条例に適合しない車両を適合とみなすことができます。

工程での活用のため、現場内で安全に・速く・効率よく作業を行うための機械を関連商品を含めシステムとしてご提供しています。

金属系リサイクル

従来ガス溶断などを使用して切断していた対象物を、スパッと切断可能に。作業や周辺環境に優しく、かつ能率的に作業が進められ、次工程へ処理物を回せます。

整備・サービス MAINTENANCE / SERVICE

マルマの出発点でもある部門で、建設機械を中心に、ありとあらゆる機械の整備サービスを行います。経験豊富な技術者が最新鋭の設備機器で行う分解・洗浄・部品検査・部品再生・組立・交換・完成検査などの各種整備は、そのスピードと信頼性で高い評価をいただいています。必要に応じて、国内外を問わず迅速に出張対応。また、定期整備や車両系建機の特定制検査も行っています。

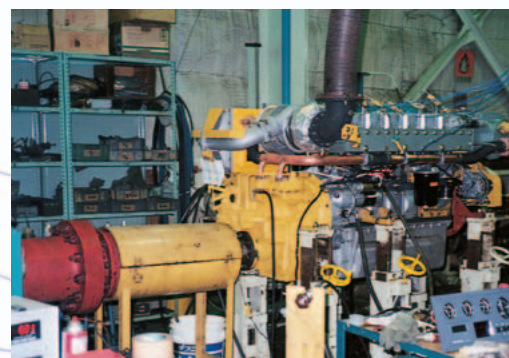
マルマの原点であり、他の事業を支える基幹部門である、我々の誇りです。



木質系破砕機の整備
稼動時間に応じて入念に整備を行います。お客さまの立場に立って安全対策、強化対策も実施します。



解体用アタッチメントのツール加修風景
長年培ってきた溶接技術によって、さまざまな消耗部品の肉盛再生を行います。



エンジンの負荷試験設備
3000PS、1500PS、600PS、250PSの4機を備え、小型はもちろん大型の高馬力エンジンの性能試験を実施します。



オーバーホール後のウォータージェット装置負荷試験
超高压ウォータージェットが国内に導入された当初からの長い整備経験を持ち、安全性も配慮した確実なメンテナンスサービスを実施します。



発電機の負荷テスト
1500kVAまでの大型発電機負荷テストに対応でき、NEGA(日本内燃力発電設備協会)基準に基づき試験を実施します。



豊富なパーツが在庫され、速やかに対応できます。

油圧ポンプモーターの負荷テスト
国内外各社の油圧ポンプ・モーターの修理、オーバーホールを行っています。組立て後は必ず、性能試験を実施し、確かな商品をお客さまへお届けします。



油圧シリンダーの再生
高トルクのシリンダーリベアスタンドを用いて、大型シリンダーのオーバーホールを実施します。また整備後は豊富なテスト機器を使用して万全を期します。

広範囲にわたる整備サービス技術

創業当初のブルドーザの修理にはじまり、今では建設機械の枠を超えて広範囲の整備をカバーするようになりました。

エンジン

国内外の大型エンジン整備・オーバーホールに豊かな経験を持ち、馬力試験、発電機の負荷テストにも対応しています。

車体

油圧ショベルや基礎機械など一般建設機械はもとより、輸入大型機械にも充分対応できる設備と技術を備えています。

油圧機器

建機用油圧ポンプ・モーターをはじめトンネル掘削用ジャッキやパワーユニットの分解、点検、修理、組立後に、検査、負荷テストを実施し、お客さまに確かな信頼をお届けします。

フィールドサービス

万一の故障時には、最善の方法で迅速に出張サービスを致します。定期整備や車両系建機の特定制検査も行っています。

部品

一般建設機械部品、輸入機械部品、油圧機器部品などを在庫。お客さまの要望に応じて、即納できる体制を整えています。

再生

エンジンから足廻りまでの一連のバウトレインや各種作業機を構成する部品を再生して修理費の低減に貢献しています。

海外エンジニアリング ENGINEERING

私たちのお客さまは国内だけではありません。世界各地のお客さまに対しても、工場設備や建設機械関連機器を中心に幅広くビジネスを行っています。

それは単に機械や設備単体を納入するだけではありません。建設機械の修理に関わる設備や工場や研修所の設計と建設、納入した設備の運転指導、その基本となる整備再生技術の教育。

そして組織の運営方法援助など、さまざまなサービスを現地に専門スタッフが行うのです。

また国内でも、海外から研修生を受け入れて同様の教育を実施します。

ハードからソフトまで、モノだけでなくノウハウも送り出せるのが我々の強みなのです。



● 技術者派遣先

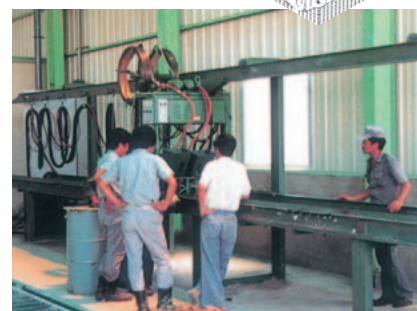
お客さまの要望・現況をよくお聞きし、共に最適な製品を形作る



足廻り再生工場
レイアウトの一例



整備実習



トラクタ足廻り修理・再生工場



整備工場等の建設



運転実習



機械整備指導



油圧テスターによる性能試験



総合カタログ
国内外の修理関係者からは
たいへん重宝がられています。

マルマテクニカの海外エンジニアリング

海外の人達とのさまざまな面における交流は、私たちの特徴の一つです。

その中でも海外向けエンジニアリングは、下記のように、他の追随を許さない点をたくさん持っています。

ユーザー第一主義

マルマテクニカは、修理設備のメーカーであり、また、ユーザーでもあります。

整備の現場において何が一番必要であるのか？

…という問いに答えられるノウハウを持っています。

現場第一主義

海外の修理現場は、極寒の地から灼熱の砂漠まで、さまざまな場所にあります。マルマテクニカのエンジニアは豊富な海外経験をもとに、その環境に合った製品を選定いたします。

修理設備と修理技術の融合

修理機械の納入で大切なことは、設備の使い方より、それを用いてどのように修理を行うかということです。マルマテクニカのエンジニアは単なる機械エンジニアではなく整備のプロなのです。また、メーカーに限定されずにどの機械も整備できるのも私たちの特徴です。

豊富な実績

マルマテクニカのエンジニアリングは、世界中の鉱山・発電所・ODAプロジェクト（道路・井戸・ゴミ・公共輸送）等の多くの修理工場に実績があります。

開発・設計 DEVELOPMENT & DESIGN

整備工場として出発したマルマが、現在のようなユニークな会社になった原動力の一つが、この研究開発能力です。旺盛な好奇心・お客さまの身になって考える対応能力・柔軟な開発力・高い技術応用力、それらをうまく結びつけて、さまざまな機械設備の開発と製造と輸出入を支えてきました。この能力は、設計部門だけでなく、工場部門・営業部門・購買部門など、あらゆる部門が備えています。全員がエンジニアであることが我々の強みなのです。



小型木質系粉碎機の試作・組立



道床交換機



転炉解体機の応力テスト



エネルギー回収型油圧試験機

主な開発・設計分野と製作実績

6-9ページの実例のように、開発実績は多岐にわたります。ここでは分野ごとの実績をご紹介します。もちろん今後も新たな分野の開発が行われていくことでしょう。

整備機械分野

- ・建設機械
- ・エンジン
- ・油圧
- ・ウォータージェット
- ・電気制御
- ・溶接・再生

開発・設計分野

- ・油圧装置
- ・特殊アタッチメント
- ・特殊車両
- ・ウォータージェット
- ・電気制御
- ・溶接・再生
- ・トンネル対応
- ・低騒音化
- ・地盤改良
- ・環境適応
- ・リサイクル
- ・整備工場プランニング

主な開発・設計製作品目

- ・多機能油圧機器試験機、建設機械整備用油圧設備
- ・建設機械用特殊アタッチメント
- ・建機ベース・トラックベース特殊車両
- ・ウォータージェット用先端治具、特殊車両
- ・自動制御、ラジコン化
- ・自動溶接肉盛装置
- ・トンネル構内車両の電動化、排ガス浄化装置
- ・防音ボックス、建機他の騒音対策
- ・軟弱地盤対応機、杭打ち機、土質改良
- ・寒冷地、熱帯、防塵、各種環境への対応
- ・木質系/金属系のリサイクル作業対応機械
- ・整備工場のレイアウト、エンジンテストルームの設計 他

会社概要 PROFILE

概 要

- 商 号 マルマテクニカ株式会社
- 設 立 年 月 日 1946年（昭和21年）9月11日
- 資 本 金 100,000,000円
- 経 営 者 取締役社長 森木英光
- 主 要 営 業 品 目
 1. 建設機械・農業機械・産業機械・環境機械及び車両などの製造・整備・改造・賃貸並びに売買。
 2. 前記各種機械及び関連の整備用機器・計測用機器・機械器具・工具・部品などの試作研究・設計・製造・整備・改造並びに売買。
 3. 各種車両の修理工場・トレーニングセンタ及びプラントのメンテナンス工場に関するエンジニアリング。
 4. 石油精製装置・石油化学装置・都市上下水処理場及び原子力発電所などの各種回転機械の据付・保守並びに整備。
 5. 前記に関する輸出入業務。
- 所 在 地

本 社	〒252-0331 神奈川県相模原市南区大野台6丁目2番1号
相 模 原 事 業 所	TEL 042-751-3800(代) FAX 042-756-4389 E-mail:s-sales@maruma.co.jp
東 京 工 場 (本店所在地)	〒156-0054 東京都世田谷区桜丘1丁目2番22号 TEL 03-3429-2141(代) FAX 03-3420-3336 E-mail:tokyo@maruma.co.jp
厚 木 工 場	〒243-0125 神奈川県厚木市小野651番地 TEL 046-250-2211(代) FAX 046-250-5055 E-mail:atsugi@maruma.co.jp
名 古 屋 事 業 所	〒485-0037 愛知県小牧市小針2丁目18番地 TEL 0568-77-3311(代) FAX 0568-72-5209 E-mail:n-sales@maruma.co.jp http://www.maruma.co.jp/
- 主 要 関 連 会 社

マルマ機工株式会社
本社 〒156-0054 東京都世田谷区桜丘1丁目2番22号
TEL 03-3429-2133 FAX 03-5477-7577
http://www.maruma-kiko.co.jp/

事業所



本社・相模原事業所:敷地20,900m²



東京工場:敷地3,700m²



厚木工場:敷地39,200m²



名古屋事業所:敷地13,100m²

マルマの歩み HISTORY

- | | | |
|-------|-------|---|
| 1946年 | 昭和21年 | 旧陸軍機甲整備学校の払い下げを受け(有)マルマ車輛整備工場発足。 |
| 1949年 | 昭和24年 | キャタピラー社(米)の指定サービス工場となる。 |
| 1953年 | 昭和28年 | (有)マルマ車輛整備工場よりマルマ重車輛(株)へ社名変更。 |
| 1955年 | 昭和30年 | バーバグリーン社(米)及びユークリッド社(米)の指定サービス工場となる。 |
| 1957年 | 昭和32年 | (株)小松製作所、三菱重工業(株)、日野自動車工業(株)の指定サービス工場となる。 |
| 1959年 | 昭和34年 | トラクタ用分解組立用特殊工具の製造を開始。 |
| 1960年 | 昭和35年 | 化工機部を設立し石油ガス関係のサービス事業を展開。 |
| 1963年 | 昭和38年 | 愛知県小牧市に名古屋工場を開設。 |
| 1964年 | 昭和39年 | 神奈川県相模原市に相模原工場を開設。 |
| 1968年 | 昭和43年 | 日本初のトラクタ用特殊アタッチメントの製造を開始。 |
| 1972年 | 昭和47年 | ウルフ社(米)、L&B社(米)と足廻り再生設備の製造販売に関する技術提携及び販売契約を締結。 |
| 1973年 | 昭和48年 | ストゥーディ社(米)の表面硬化溶接棒・ワイヤの日本総代理店契約を締結。 |
| 1984年 | 昭和59年 | キャタピラー社(米)の足廻り再生機械の納入業者として指定される。 |
| 1987年 | 昭和62年 | 化工機部を分社化し、「マルマ機工株式会社」を設立。 |
| 1988年 | 昭和63年 | ラバンティ社(米)モービルシャの日本総代理店となる。 |
| 1989年 | 平成元年 | SPX社(米)、OTC社(米)の日本販売総代理店となる。 |
| 1993年 | 平成5年 | 相模原工場に油圧機器整備工場を建設。 |
| 1994年 | 平成6年 | 東京工場跡地に合同ビルを建設。 |
| 1996年 | 平成8年 | 会社創立50周年。マルマ重車輛よりマルマテクニカ(株)へ社名変更。
本社ビル建設。神奈川県厚木市に厚木工場を開設。 |
| 2002年 | 平成14年 | 森木泰光が会長に就任。森木英光が社長に就任。 |
| 2004年 | 平成16年 | 本社所在地を東京から相模原に移動。(本店所在地は東京) |
| 2006年 | 平成18年 | 創立60周年。売上120億円達成。
相模原事業所、第2工場の耐震工事および改装工事竣工。
名古屋事業所にエンジン工場1,270m ² 新設竣工。 |
| 2007年 | 平成19年 | 相模原工場に発電機負荷装置を導入。 |
| 2012年 | 平成24年 | バルフィンガー社(オーストリア)屈曲式クレーンの販売代理店契約を締結。 |
| 2013年 | 平成25年 | JCB社(英)ディーゼルエンジン販売店契約を締結。
コーラー社(米)小型ディーゼルエンジンの販売店契約を締結。
ハートリッジ社(英)ディーゼルエンジン燃料噴射試験装置の販売代理店契約を締結。 |

